

生駒市学研高山地区環境保全対策委員会

会議録（要旨）

会 議 要 旨

1 会議名称 第2回生駒市学研高山地区環境保全対策委員会

2 開催日時 平成25年2月27日(水) 午後3時30分～午後5時

3 開催場所 生駒市役所4階 大会議室

4 出席者 出席委員 8名

(学識のある経験者)

米増國雄 委員長

山下一美 委員

藤田藤樹夫 委員

(関連のある自治会代表)

藤堂宏子 副委員長

窪田博明 委員

栄枝与志憲 委員

吉田喜代一 委員

谷岡 實 委員

事務局

環境経済部 奥谷部長

環境政策課 岡田課長、川島課長補佐、大熊、西谷、張

経済振興課 中川課長補佐

上下水道部

下水道管理課 栗野課長補佐、財満

傍聴者 0名

5 会議次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 案件

1 学研高山地区における監視測定結果について

2 その他

6 配布資料

・会議次第

・資料1 生駒市学研高山地区に係る調査結果報告書

・資料2 環境監視結果について

7 会議経過

- ・ 村松委員について

会議に先立って平成 14 年から 11 年間当委員会に御尽力頂いた村松委員が平成 24 年 12 月に亡くなられた旨事務局より報告があった。故人様の御冥福をお祈りすると共に事務局からの報告があった。

- ・ 会議の成立について

生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例第 7 条第 2 項の規定により、委員 12 名中 8 名の出席のため会議は成立。

- ・ 会議の公開について

公開

- ・ 署名委員について

要約筆記による記録で、会議録の署名は、委員名簿順に 2 名ずつ輪番で行なう。本会議の署名委員は、山下委員と米増委員長。

案件 1 学研高山地区における監視測定結果について

<委員長>

案件 1 の学研高山地区における監視測定結果について事務局から説明をお願いします、との発言あり。

<事務局>

学研高山地区の監視体制としては、生駒市が行う学研高山地区周辺環境調査、下水排水調査、事業所の立ち入り調査と事業者が自ら行う調査の 2 つがあり、双方で監視を行っている、との説明あり。資料 1 は平成 24 年 1 月から 12 月までの調査結果を示したもので、資料 2 はそれを概要版としてまとめたものです、との説明あり。大気質に関しては一般環境調査として高山サイエンスプラザの屋上で降下煤塵、窒素酸化物、硫黄酸化物等の簡易測定を月に 1 回実施し、自動車排ガスに係る沿道調査として国道 163 号線と市道芝庄田線の交差点で自動車排ガスの主な汚染物質、窒素酸化物、浮遊粒子状物質等を年 1 回 7 日間連続で調査した、との説明あり。

水質については山田川、西浦川、調整池の 3 箇所では生活環境の保全に関する環境基準の項目を年 4 回、山田川で人の健康の保護に関する項目を年 1 回実施し、また高山地区内で使用されている井戸水 1 ヶ所で水道水質基準 50 項目を調査した、との説明あり。

それぞれの検査結果について、一般環境大気及び沿道大気の調査結果は環境基準を満足している、との発言あり。次に西浦川、山田川、調整池については水素イオン濃度、化学的酸素要求量、浮遊粒子状物質の値において基準を超えている部分があるが、理由としては降雨や水温の上昇によるものが考えられる。山田川の人の健康の保護に関する項目は環境基準を満足した。井戸水の水質基準については鉄及びマンガンで環境基準を上回っているが過年度結果でも環境基準を超えている。飲料には適さないが農業用とし

で使用されており、農業用水基準には鉄、マンガンの項目がなく、今後も状況を引き続き監視していく、との説明あり。以上学研高山地区周辺の大気質、公共用水域の水質、井戸水の検査結果について特に問題となる事項はなかった、との発言あり。

奈良先端科学技術大学院大学の実験排気、実験排水、放射線の測定結果について、排水については8月に大腸菌群数と一般細菌で高い値が検出されているが、基準を満たしており、過年度の範囲内で特に大きな異常はなかった、との発言あり。

参天製薬株式会社の実験排気、実験排水、放射線関係、ボイラー排ガスの測定結果について、奈良先端科学技術大学院大学と同様に実験排水については大腸菌群数、一般細菌の検出があったが過年度の範囲内で特に大きな異常はなかった、との発言あり。

<事務局>

続いて、生駒市、奈良先端大学、参天製薬が行う下水道排水の調査結果について報告します、との発言あり。生駒市は月1回、高山ポンプ場流入直前のマンホールで採水し45項目の検査を行っており、結果はいずれも基準値内であった、との発言あり。

奈良先端大学は2週間に1回年間27回、敷地内で28項目から45項目の検査を行っており、結果についてはいずれも基準値内であった、との発言あり。

参天製薬については2週間に1回年間27回、敷地内で42項目の調査を行っており、結果はいずれも基準値内である。3種の調査結果から全ての項目で基準値を満たしており、特に問題は見受けられませんでした、との発言あり。

<委員長>

ただいま事務局から学研高山地区における監視測定結果について説明を受けましたが、委員の皆様何かご質問、ご意見はございますか、どうですか、との発言あり。

<委員>

専門的なことはよく分かりませんが、先生方から問題点の指摘がなければ、基準値内にほぼおさまっているということであれば問題ないのではないかと思います、との発言あり。

<委員>

異議はありません、との発言あり。

<委員長>

意見も出尽くしたようですので、学研高山地区における監視測定結果について、当委員会として了承したいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか、との発言あり。

<委員一同了承>

<委員長>

では、当委員会として学研高山地区における監視測定結果について了承いたします、との発言あり。続いて案件2その他について、事務局から何かございますか、との発

言あり。

<委員>

昨年10月25日の第1回の保全対策委員会で審議いただいた上六印刷株式会社の下水道への排水内容の変更の件についてですが、委員会で提示いただいた意見を受けて、生駒市と上六印刷株式会社で協議した結果、シルク製版洗浄水を原点回収し、下水道へ排水しないことを上六印刷株式会社の方で決定し、委員会の意見を反映した変更計画書が平成24年12月26日付で提出されたことから、委員長に確認した結果、「委員会での審議結果通りであることから、委員会の開催を省略し、委員会としてこれを承認する。また、変更計画書を委員の皆様を送付するように」、との指示があったことから、変更計画書を委員の皆様へ送付させていただきました。現在は測定回数及びその項目を含めて、特定施設変更手続きを進めているところです、との説明あり。また上六印刷の自主検査にかかる結果については、大気質と騒音に関する検査を今年3月に行うということ聞いていますので次回の委員会で報告いたします、との説明あり。

<委員長>

ただいま事務局から上六印刷に関する報告がありましたが、事業者側が譲歩をしてくれ、委員会の意向どおりに動いてくれ、すべての懸念が払拭されたと思います、との発言あり。それではこれで委員会を終わりますが、事務局におかれましては今後とも当該地区の環境保全に万全を尽くされるよう、監視測定調査をよろしくお願いし、本日の委員会を閉会させていただきます。委員の皆様、本当に有難うございました、との発言あり。

以上、第2回生駒市学研高山地区環境保全対策委員会会議録として、会議の内容と相違ないことを確認し、署名する。

署名委員 米増 國雄

署名委員 山下一美 